

意見交換会での意見に対する議会の回答

意見交換会で提出された意見に対し、議会として回答をさせていただきます。なお、この意見は執行部にも伝え、情報共有させていただきます。

整理番号	意見	議会回答	班
1	働く場所がなく若者が戻ってこない	町の基幹産業である一次産業について、ICTによる経営の効率化、収益の向上、雇用環境の充実、働き方改革等により、魅力の向上を図ること、又ICT環境を整備してサテライトオフィスや大手企業の誘致を推進することも必要と考えます。若者の定住対策については、産業振興から子育て支援等に至るまで関係する分野が広範囲に及ぶので、議会としては、今後とも町民の皆様とアイデアを出し合いながら、持続可能な町づくりを推進してまいります。	1班
2	宿泊ができる場所がなく観光客が減少している	愛南町の魅力を維持し、関係人口を増加させることが町の賑わいづくりには重要であるので、愛南町の自然、魅力的な産業等の個性を体感してもらえる宿泊施設や観光施設は必要と考えます。ただし、整備に当たっては、将来の財政の見通し、経済波及効果等を考慮する必要がありますので、議会の監視機能を発揮してまいります。 なお、産業厚生常任委員会が令和5年第4回定例会で「アフターコロナの観光振興について」所管事務調査の報告を行い、重要な観光振興の施策の一つとして、「宿泊施設の整備に取り組むこと」及び「時代のニーズに沿った体験型施設など未来指向の整備を進めることも重要」であることを報告しています。	1班
3	スマート農業の推進支援の強化 ①スマート農業施設の導入に対する補助金の充実 ②ドローン操縦資格取得及び、ドローン購入に対する助成の充実 ③農業DXソフト(圃地の3Dモデル化のソフト等)の購入に対する助成の充実 ④青年農業者協議会の活動に対する支援の充実	労働環境の改善、働き方改革、安定かつ高品質の農産物の生産による高収益の確保を図るために、議会として、スマート農業の推進支援の強化について産業厚生常任委員会で所管事務調査を行うこととしています。	2班
4	農地中間管理機構(農地バンク)の活用 ①農地バンクの活用による安定した農地借地の促進 ②農地バンクの活用による耕作放棄地の有効活用	農地の安定した確保による経営の大規模化・安定化及び、耕作放棄地の有効利用を図るために、議会として、農地中間管理機構(農地バンク)の活用について産業厚生常任委員会で所管事務調査を行うこととします。	2班

意見交換会での意見に対する議会の回答

意見交換会で提出された意見に対し、議会として回答をさせていただきます。なお、この意見は執行部にも伝え、情報共有させていただきます。

整理番号	意見	議会回答	班
5	<p>人手(季節雇用のアルバイト等)不足解消の支援の充実</p> <p>①八幡浜市等の先進自治体との連携による支援体制の強化</p> <p>②行政、JAIによるコーディネートの実施</p> <p>③季節雇用アルバイトの宿泊施設の整備、交通費の助成等の支援の充実</p>	<p>雇用の確保による経営の大規模化・安定化、生産量の増加、品質の確保、労働環境の改善を図るために、議会として、人手(季節雇用のアルバイト等)不足解消の支援の充実について産業厚生委員会で所管事務調査を行うこととします。</p>	2班
6	<p>おいしいだけでは輸出は伸びない。</p> <p>国際認証を取る水産業者を増やして、愛南町の水産業者全体のレベルアップや、漁協がリードして町独自の水産物のブランディングを図っていく必要がある。</p>	<p>水産物の輸出に関しては、おいしくて安全安心であることをしっかりアピールした販売促進を図っていく必要があります。よって、一つの信用の証として、国際認証を取得していくことは重要です。現在のところ「愛南漁協マダイ養殖グループ」と「有限会社ハマスイ」が、国際基準の魚類養殖(MEL)認証を、さらに「愛南漁協マダイ養殖」と「愛南漁協ブリ養殖」が、安心安全魚類養殖(AEL)認定を取得しています。</p> <p>幸い、現在は円安により水産物の輸出が有利な状況であり、国内に於いても、コロナ感染症の収束により需要が高まってくるのが想定されていますが、これを好機として捉え、今後、愛南漁協、愛媛大学、愛南町が連携をさらに深め、国際認証の取得や水産物のブランディングの促進を念頭に水産業者への支援の充実を図っていくこと。さらに現在策定中の海業推進のグランドデザインにも、これらのことを盛り込んで着実な実践を図ってもらえるよう、議会としても働きかけを行って行きます。</p>	3班
7	<p>水産物を養殖するだけでなく、流通段階の改革も含めた販路開拓が必要である。</p>	<p>販路を開拓していく為に、東京の「せとうち旬采館」での特産品の販売やイベントの開催、その他にも様々な魚食普及活動やイベントを開催しています。また、最近では愛南町はモンベルとフレンドタウン契約を締結したので、全国の100万人を超えるモンベルの会員に対して、ふるさと納税の返礼品として、水産物の宣伝ができています。</p> <p>今後も、愛南町が他の関連団体と一体となって行う特産品の販売やイベントの開催が、「水産物の販路開拓に繋がっているかどうか」という視点に立って、状況を注視して行かなければならないと考えます。</p> <p>来年度以降は、物流・運送業界の働き方改革により長距離でモノが運べなくなるということが懸念されています。</p> <p>物流が滞ることによる水産物販売への影響が懸念されますが、議会としても動向をしっかりと見極めて、水産業者への影響に配慮し、必要であれば行政への支援の働きかけを行っていく必要があると考えています。</p>	3班

意見交換会での意見に対する議会の回答

意見交換会で提出された意見に対し、議会として回答をさせていただきます。なお、この意見は執行部にも伝え、情報共有させていただきます。

整理番号	意見	議会回答	班
8	<p>人手不足</p> <p>①ネットなどの活用による若い世代への魅力等情報の周知</p> <p>②個人経営から組織化による経営規模拡大による効率化</p> <p>③雇用環境や福利厚生の実充による職場の魅力アップ</p> <p>④医療・子育てなど住環境整備による魅力アップ</p> <p>⑤外国人の活用、育成</p>	<p>町の基幹産業である一次産業について、ICTによる経営の効率化、収益の向上、雇用環境の充実、働き方改革等により、魅力の向上を図ること、又外国人労働者の活用、育成を図ることなど、担い手不足解消も必要と考えています。若者の定住対策については、産業振興から子育て支援等に至るまで関係する分野が広範囲に及ぶので、議会としては、今後とも町民の皆様とアイデアを出し合いながら、持続可能な町づくりを推進してまいります。</p>	4班
9	<p>経費高騰</p> <p>①スケールメリットを活かした経費の削減</p> <p>②ICTやAIを活用したスマート漁業の推進による効率化</p> <p>③品質・付加価値の向上などによる販売価格の向上</p> <p>④輸出先の多角化による販売先の多様化・確保</p> <p>⑤漁場等の環境向上を通じた産地の魅力化</p> <p>⑥補助制度の実充</p>	<p>経費高騰に対応できる収益構造の強化を図るため、ブランド化推進のための産品創出策、経費削減のための支援体制強化等が必要と思われますので、議会としても支援したいと考えています。</p>	4班